

経済学研究科

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【修士課程】

経済学研究科修士課程では、現代の経済社会について、広い視野からの学識に立ち、経済学に関する高度な知識と技能をもって解析・研究しうる能力をそなえた高度専門知識人の育成、及び経済に関する専門性を要する職業等に必要能力をもった高度専門職業人の育成を目指しています。

このような教育研究上の目的を達成するため、経済学研究科では以下のような学生を受け入れます。

- (1) 経済に強い関心を持ち、本研究科で研究するために必要な経済学に関する知識を有する人。
- (2) 自立して研究を行い経済学の学問的発展に寄与しようとする意欲のある人。
- (3) 経済学に関する専門知識を身につけ高度専門職業人として社会に貢献しようとする人。
- (4) 一般・外国人留学生入試では、専攻しようとする専門科目についての学力に加え、日本人の学生にあっては外国語の能力、外国人については日本語による会話・コミュニケーション能力を有する人。
- (5) 社会人特別入試では、特定の専門分野に関心を持ち、適切かつ明確な研究テーマをもっている人。

【博士後期課程】

経済学研究科博士後期課程では、経済学分野の研究者として、自立して研究活動を行うに必要な高度な研究能力とその基礎となる学識の育成、並びに高度専門職業人として、より先端的な技能と研究能力の向上、及びその基礎となる豊かな学識の修得を目的としています。

このような教育研究上の目的を達成するため、経済学研究科では以下のような学生を受け入れます。

- (1) 今後の研究に関して明確な計画を持ち、その計画を実現するために必要な専門分野に関する十分な学識と外国語についての知識と活用能力を持っている人。
- (2) 経済学の分野において、研究者として自立して研究活動を行う能力と意欲のある人。
- (3) 経済学の分野において、高度に専門的な職業に従事して研究活動を行う能力と意欲のある人。